

<参考資料>

ホームページでのアンケート結果からのご報告

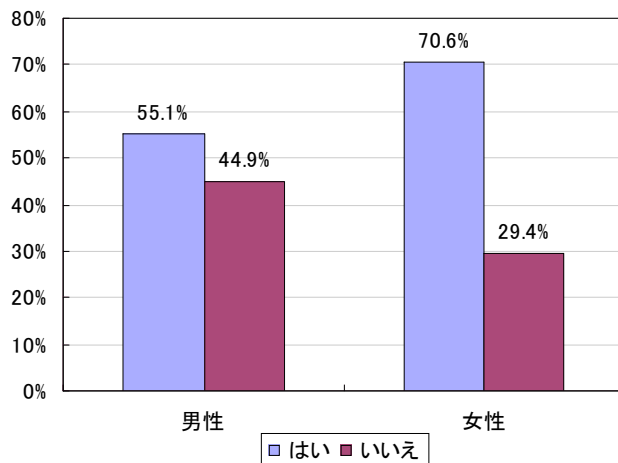
このデータの調査対象は、日本歯磨工業会のホームページ上のアンケートに答えていただいた全国の10代～60代以上の男女2344名。調査期間は、2006年4月～6月。インターネットによる回答選択方式によるものです。

①お昼に歯をみがいている率

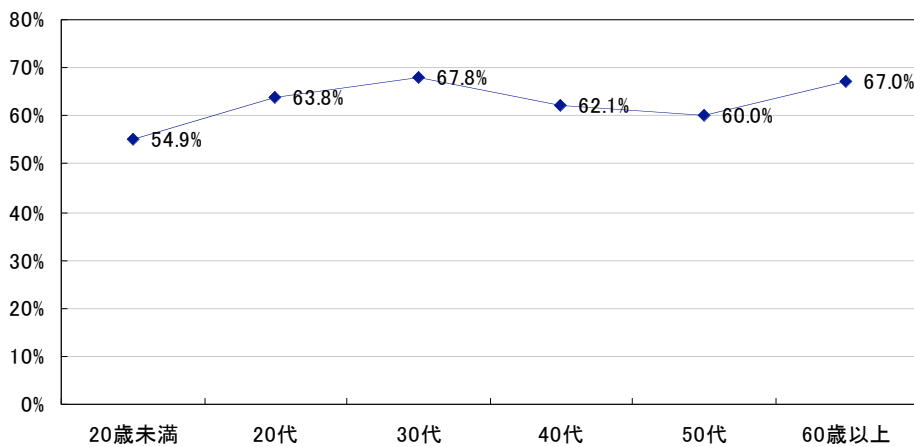
このデータは、2006年の標語募集に応募された方のものであります。そのため、オーラルケア意識の高い方が多いようです。お昼に歯をみがいている率は、女性では、70%を超え、男性も55.1%の人がお昼にみがいています。年代別に見ても、平均が60%を超えるという高い比率がでています。

2005年に厚生労働省が実施した歯科疾患実態調査では、1日3回みがく人は、20%強でした。

◆男女別 「お昼に歯をみがいていますか？」



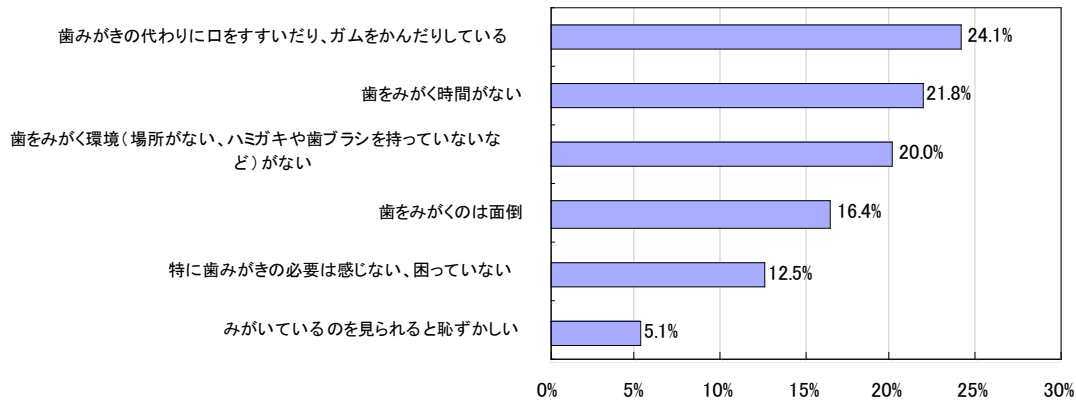
◆年代別 お昼に歯をみがいている人の割合



②お昼に歯をみがかない理由

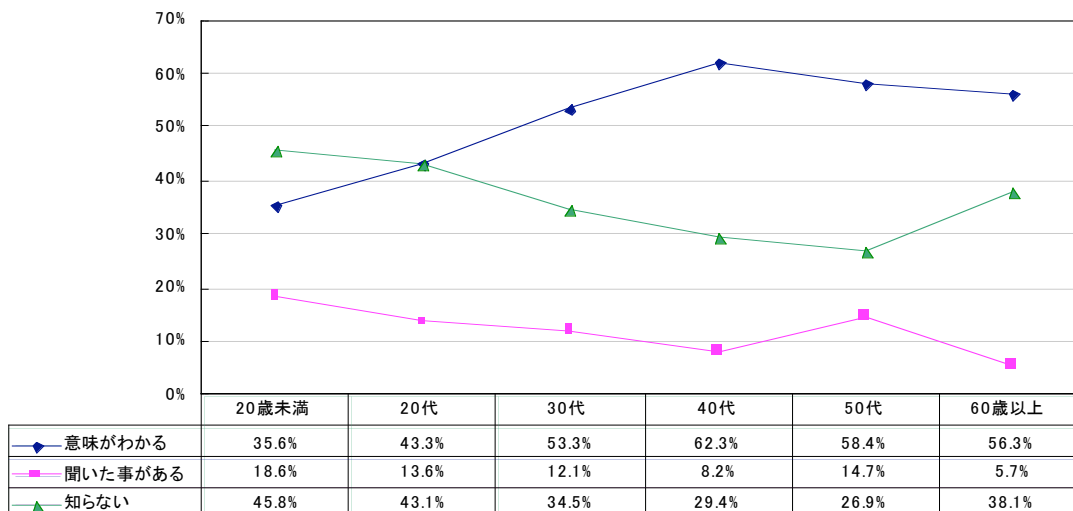
理由の1位は、「歯みがきの代わりに口をすすいだり、ガムをかんだりしている」でした。2位は「歯をみがく時間がない」です。

昨年、発表したデータでは、1位が「歯をみがくのは面倒（20%）」でした。この項目は、今回は4位（16.4%）になり、代わって3位は、「歯をみがく環境がない（20%）」になりました。お昼に歯をみがくことが面倒という人よりも、みがく環境の良化を望む人が増えています。



③8020運動の認知度

8020運動の「意味がわかる」と答えた人は、全体の51.5%と、半数以上の人を理解しています。しかし、年代別では、20代の45.8%は「知らない」、意味がわかると答えた人は、35.6%です。それに対して、40代以上は、「意味がわかる」という人が増えます。やはり、年代による興味度の差が大きいようです。



当工業会では、会員各社が協力して8020運動を推奨することにより、お昼に歯をみがく習慣をもってもらい、お昼の歯みがき率を向上させていきます。また、みがく環境がない、と言われる方には、液体ハミガキの使用を提案するなど、8020の達成に寄与していきたいと思っています。